THE ILC GAZETTE

横浜隼人高等学校 国際語科通信

Vol.１８
2017･11･20

横浜隼人模擬国連（１０月２２日）春に初級者会議を行いましたが、今回は本校の他に４校（ぐんま国際、横浜女学院、昭和女子、晃華学園）を招いて中級者会議を本校で開催しました。今回も本校ＩＬＣ卒業生の中川先輩にディレクターをしていただき､本格的な模擬国連を行いました。

１６カ国の「大使」が勢揃い！

事前に調べた資料をもとに、
レベルの高い白熱した会議が繰り広げられました！

中川先輩が会議の
途中途中で解説を
してくれました。

ＩＬＣ生徒は存在感たっぷりに活躍！

今回のテーマは「シリア問題」。隼人の生徒はイラク、トルコ、アメリカを担当しました。また本校が開催校になったので生徒会の生徒が運営を行いました。議論は国連としてＩＳ（イスラミックステート）とシリアからの難民にどう対応するかというものでした。各国が国益を目指して大激論！

横浜隼人模擬国連に参加した感想★今回は初めての参加でしたが､次回は事前準備を頑張りたい｡とても充実した一日でした！★皆､自分の国益をしっかりと確保しつつ、他国も妥協できるようなＤＲをつくる姿を見て、とてもかっこよかった★議題も、議論もともにレベルの高いもので、とても緊張しました。また国際情勢に興味を持つことができました★かなり疲れましたが､楽しかったのと､達成感がありました！★今回この模擬国連をきっかけにシリア情勢などの問題に目を向けることができました★議長の進行がスムーズで快適だった。正式な議事進行の方法を知ることができた★中東問題は複雑で難しかったけれど、楽しかった。

國學院大學学生公認団体「優志」のワークショップ（１１月１日）昨年度に引き続き、この団体に、彼らのカンボジア支援について紹介していただくとともに、途上国の支援をどうやっていけばよいのかを具体的に考えるワークショップも行いました。

「優志」は隼輝祭でも
活動報告をしてくださいました。

綿密に練られた発表内容とワークショップで、充実した
時間を過ごしました。

今回のワークショップの感想★自分にできることをやってみたいです。今の自分には将来何がしたいとかがないので、視野を広げてみたい★現地で支援をしてみたい★自分が知らないことがまだまだたくさんあると思うので、たくさんのことを知ってみたいです。

国際理解講座　２年生（１０月３０日、１１月７日）ＪＩＣＡ職員の礒元賢志さんに、ご指導いただきました。今年の春にお越しいただいた時には礒元さんの経歴とＪＩＣＡでの仕事についての紹介でしたが、今回は実際にＪＩＣＡの職員の方が研修で行うワークショップを実施して下さいました。その目標としては「Project Cycle Management」の手法に基づいて途上国の現状理解と開発援助の課題、難しさを理解する」というもので、難しく感じた生徒もいたようですが頑張って取り組みました。

今回もワークショップ
の指導と評価をして
くださいました。

ふせんを使って
各班がアイデアを
出し合って…。

途上国のバス会社の運営を例に、どのような
支援をしたらよいかについてまとめました。

「計画・実施・評価」
について学んだ事を発表！

ＳＵＮＳＵＮフェスタでボランティアをしてきました（１１月１２日）本校の近くにある障がい者の通所施設のお祭りのボランティアに、７名の生徒が参加しました。地域に暮らす障がい者とともにお祭りを行うことで、身近にそして共に生きていこうという催しに、ＩＬＣはこれからも参加していきます。

模擬店だけでなく、映像に
よる施設紹介もありました。

この建物見たことありますか？

呼び込みも元気よく！

着ぐるみにも入りました。